

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ペットビジネス学科
教科名：グルーミング実習（⑩から⑳）		塩田恵理子 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	前期終了時の実技試験で、ダックス1頭2時間以内にベーシック作業（爪切り・耳掃除・バリカン・ブラッシング・シャンピング・ペイジング）が仕上げられること		18単位 288時数
	（成績評価の方法・基準）出席率・課題評価		
回	授業内容		
1	グルーミング概論・講義		
2	グルーミング概論・講義		
3	グルーミング概論・講義		
4	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
5	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
6	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
7	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
8	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
9	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
10	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
11	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
12	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
13	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
14	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
15	3人で1頭の実習を2週、2人で1頭の実習を2週行い、その後1人で1頭の実習を行う。ダックス1人で2時間以内を目指す。		
16	前期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。 その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ペットビジネス
教科名：グルーミング実習（◎から◎）		塩田恵理子 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	後期終了時の実技試験で、トイプードル1頭2時間以内にベーシック作業、		18単位 288時数
	カットが2.5時間以内に仕上げられること		
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価		
回	授業内容		
1	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
2	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
3	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
4	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
5	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
6	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
7	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
8	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
9	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
10	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
11	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
12	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
13	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
14	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
15	週3回の実習のうち1回はベーシックのみ行う。ベーシック認定不合格者はダックスのベーシックを行い、合格者はプードル等のトリミング犬種のベーシックを行う。他2回の実習はプードル、ヨーキー、シーズー等のトリミング犬種のベーシック及びトリミングを行う。		
16	後期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 GPA算出変換：A=2 B=1 C=1 D=0 E=0	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。 その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：スタイリングI（実習）		牧野 博之 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	FAアドバイザーとしての必要なスキル販売知識商品知識接客用語を身に付け、販売職のスキルを身に付ける (成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・テスト		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	自己紹介とスタイリングシートの説明		
2	自分のファッションMAP作成①		
3	自分のファッションMAP作成②		
4	ファッションテーマの方程式		
5	2018年春夏トレンドについて		
6	スタイリング展示説明とチーム分け		
7	スタイリングイメージ発表 買い付け		
8	スタイリングボード作成		
9	ファッションコーディネート5W3H		
10	エレガントイメージコーディネート		
11	モダンイメージコーディネート		
12	クラシックイメージコーディネート		
13	フェミニンイメージコーディネート		
14	スポーティブイメージコーディネート		
15	マニッシュイメージコーディネート		
16	前期試験		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>再試験に関して</p> <p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：スタイリングI（実習）		牧野 博之 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	FAアドバイザーとしての必要なスキル販売知識商品知識接客用語を身に付け、		2単位 32時数
	販売職のスキルを身に付ける		
	（成績評価の方法・基準）出席率・課題評価・テスト		
回	授業内容	備考	
1	スタイリングプレゼンテーション 前期復習		
2	同調パターンのスタイリング①アイテム		
3	同調パターンのスタイリング②シルエット・柄		
4	アイモデル実践①観察、診断		
5	アイモデル実践②軽いメイク、スタイリング、撮影		
6	体型カバーのスタイリング①シルエット		
7	体型カバーのスタイリング②アイテム、カラー		
8	アイモデル実践①		
9	アイモデル実践②		
10	進級課題①		
11	進級課題②		
12	進級課題③		
13	進級課題④		
14	進級課題⑤		
15	進級課題⑥		
16	後期試験		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：ファッションマーケティング（実習）		森本 めぐみ 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	FAアドバイザーとしての必要なスキル販売知識商品知識接客用語を身に付け、		2単位 32時数
	販売職のスキルを身に付ける		
	（成績評価の方法・基準）出席率・課題評価・テスト		
回	授業内容	備考	
1	イメージ交換		
2	テイストとは		
3	テイストセグメンテーションマップ作成		
4	市場と消費者、自社と競合		
5	ターゲット分析 MAP制作		
6	マーケティングリサーチ調査手法		
7	マーケティングリサーチ①実施		
8	マーケティングリサーチ①まとめ		
9	マーケティングリサーチ①発表		
10	マーケティングリサーチ②実施		
11	マーケティングリサーチ②まとめ		
12	マーケティングリサーチ②発表		
13	ライフスタイル分析 1		
14	ライフスタイル分析 2		
15	ライフスタイル分析 3		
16	前期試験		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)			その他
			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：ファッションマーケティング*（講義）		森本 めぐみ 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	FAアドバイザーとしての必要なスキル販売知識商品知識接客用語を身に付け、 販売職のスキルを身に付ける		2単位 32時数
	（成績評価の方法・基準）出席率・課題評価・テスト		
回	授業内容	備考	
1	オリジナルショッププラン作成の概要		
2	ショップコンセプトの設定		
3	ターゲットについて		
4	商品構成と品揃え		
5	店舗づくり		
6	販売促進		
7	競合店調査		
8	オリジナルショッププラン 発表		
9	オリジナルショッププラン 発表		
10	マーケティングリサーチ③実施		
11	マーケティングリサーチ③まとめ		
12	マーケティングリサーチ③発表		
13	マーケティングリサーチ④実施		
14	マーケティングリサーチ④まとめ		
15	マーケティングリサーチ④発表		
16	後期試験		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>再試験に関して</p> <p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー	授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：ファッションビジネスⅠ ①②③④⑤	山脇 岩井 鈴木 実務経験有	■ 1年前期

到達 目標	ファッション販売能力検定3級試験対策	10単位 160時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト	

回	授業内容	備考
1	ファッションとは	
2	購買心理	
3	素材について	
4	小売業について	
5	店舗ディスプレイ	
6	裾上げ実習	
7	アパレルの分類1	
8	アパレルの分類2	
9	商品品質について1	
10	ファッションマーケティング	
11	商品品質について2	
12	ファッション販売能力検定3級試験対策	
13	ファッション販売能力検定3級試験対策	
14	ファッション販売能力検定3級試験対策	
15	ファッション販売能力検定3級試験対策	
16	ファッション販売能力検定3級試験対策	(前期試験)

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ファッションビジネス学科
教科名：ファッションビジネス I ①②③④⑤		山脇 岩井 鈴木 実務経験有	■ 1年後期
到達 目標	ファッション販売能力検定3級試験対策		10単位 160時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト		
回	授業内容	備考	
1	パターン知識 (チェック・ストライプ)		
2	毛皮の構造と特性		
3	ニットの編み方と組織		
4	フォーマルウェアについて		
5	デニムの生産とディテール		
6	ファッションが教えてくれること		
7	テイスト別ファッションと主なデザイナー		
8	ディテールについて		
9	サインスペース実習 1		
10	サインスペース実習 2		
11	サインスペース試験 1		
12	サインスペース試験 2		
13	ロープレコンテスト 動画鑑賞		
14	ロープレコンテスト 振り返り・セールストークについて		
15	ロープレコンテスト 振り返り・セールストークについて		
16	後期試験		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p>
			<p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：簿記会計3級(1)		稲山 訓央 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	日商簿記検定3級の取得へ向けて、実力養成を行う		2単位 32時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト		
回	授業内容	備考	
1	損益計算書について		
2	貸借対照表		
3	仕訳と勘定記入①		
4	仕訳と勘定記入②		
5	固定資産		
6	商品売買		
7	未収入金と未払金①		
8	未収入金と未払金②		
9	手形取引		
10	商品券・当座借越		
11	仕訳演習①		
12	仕訳演習②		
13	有価証券		
14	計算表・精算表①		
15	計算表・精算表②		
16	総まとめ		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー	授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：簿記会計3級(2)	稲山 訓央 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	日商簿記検定3級の取得へ向けて、実力養成を行う (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト	
		2単位 32時数
回	授業内容	備考
1	勘定科目・仕訳	
2	決算整理	
3	伝票・補助簿①	
4	伝票・補助簿②	
5	精算表・貸借対照表①	
6	精算表・貸借対照表②	
7	損益計算表	
8	残高試算表①	
9	残高試算表②	
10	仕訳	
11	過去問題	
12	過去問題	
13	3級対策問題	
14	3級対策問題	
15	3級対策問題	
16	総まとめ	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=2 B=2 C=1 D=0 E=0</p>	<p>再試験に関して</p> <p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：日本の企業経営Ⅰ		倉原 照幸 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	「初歩から学ぶ日本の企業経営」をテーマに、前期は講義とディスカッションをベースに		2単位 32時数
	「日本の企業経営」の基礎的な知識習得を行います。それを踏まえて、前期終了までに、		
	事例考察と企業経営の国際比較を行うレベルまでを目指します。		
	(成績評価の方法・基準) 課題レポート・筆記テスト		
回	授業内容	備考	
1	イントロダクション 授業終了時の到達目標を提示する	授業の進め方、評価の仕方について説明	
	現行、起きている社会状況を企業経営の立場から考察する。		
2	日本の企業経営の歴史①		
	概説：幕末から明治前期の経済		
3	日本の企業経営②		
	明治から昭和の経営者		
4	日本の企業経営③		
	戦後の日本経営のありかた。高度成長期から現代の経営手法		
5	企業経営とは何か①		
	初めて学ぶ日本の経営概論		
6	企業経営とは何か②		
	社会と経営：企業経営と社会の結び付きを知る。		
7	日本の企業システム①		
	日本の企業システムの特徴		
8	日本の企業システム②		
	日本の企業システムと海外の比較		
9	ベンチャー企業の経営①		
	日本の企業システムの特徴		
10	ベンチャー企業の経営②		
	ベンチャー企業の展望		
11	企業経営（事業考察）①		
	IT/AI/IOT事業会社をテーマにケーススタディ		
12	企業経営（事業考察）②		
	注目するスタートアップ企業を考察する。		
13	国際比較		
	GAFAのビジネス展開を検証		
14	前期総復習		
	前期のまとめ		
15	前期テスト		
16			
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 			その他
算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー	授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：日本の企業経営Ⅱ	倉原 照幸 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	「経営者の考え方を知る」をテーマに様々な経営者の会社運営について学ぶ。経営者と会社運営は密接にあることから経営者の考え方がことで、その会社の方向性とうどう関連していくかを事例を基に学んでいく (成績評価の方法・基準) 課題レポート・筆記テスト	
	2単位 32時数	
回	授業内容	備考
1	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
2	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
3	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
4	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
5	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
6	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
7	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
8	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
9	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
10	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
11	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
12	事例研究	
	1人の経営者を取り上げ、その考察を学ぶ	
13	まとめ(1)	
	これまでの授業の復習と総まとめ	
14	まとめ(2)	
	これまでの授業の復習と総まとめ	
15	後期試験	
	課題レポートによるテスト	
16		
成績評価の基準		成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。
		その他

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー	授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：販売士検定対策3級（1）	坂本 勝 実務経験有	■ 1年前期

到達 目標	小売業・販売についての知識を習得し検定取得を目指す	2単位 32時数
	（成績評価の方法・基準）出席率・筆記テスト	

回	授業内容	備考
1	オリエンテーション	
2	小売業の種類（流通における小売業）	
3	小売業の種類（組織形態別・店舗形態別小売業）	
4	小売業の種類（中小小売業）	
5	小売業の種類（販売経営管理）法令知識	
6	販売経営管理（法令店舗管理）	
7	販売経営管理（法令店舗管理）	
8	マーチャンダイジング（MPの戦略・POS物流）	
9	マーチャンダイジング（商品仕入れ管理）	
10	ストアオペレーション（S0・包装）	
11	ストアオペレーション（ディスプレイ）マーケティング（小売業のMK）	
12	ストアオペレーション（ディスプレイ）マーケティング（小売業のMK）	
13	マーケティング（顧客満足・商圈）	
14	マーケティング（リージョナルプロモーション）①	
15	マーケティング（リージョナルプロモーション）②	
16	まとめ	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー	授業担当	学科名：総合ビジネス
教科名：販売士検定対策3級（2）	坂本 勝 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	小売業・販売についての知識を習得し検定取得を目指す (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト	2単位 32時数
回	授業内容	備考
1	オリエンテーション	
2	小売りの類型(1)小売業とは	
3	小売りの類型(2)組織別、形態別の商業集積①	
4	小売りの類型(2)組織別、形態別の商業集積②	
5	マーチャダイジング(1) マーチャダイジングサイクル・販売・仕入れ	
6	マーチャダイジング(2)在庫管理・物流	
7	マーチャダイジング(3)価格・価格設定と利益	
8	ストアオペレーション(1)店舗内業務・包装の基本①	
9	ストアオペレーション(2)人員配置・LSP②	
10	マーケティング(1)顧客を主にした経営・4P理論①	
11	マーケティング(2)マーケティング活動・業務・開発②	
12	販売経営管理(1)販売員の役割①	
13	販売経営管理(1)販売員の役割②	
14	販売経営管理(2)店舗管理・計数管理①	
15	販売経営管理(2)店舗管理・計数管理②	
16	まとめ	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：スポーツビジネスコミュニケーション		池田 扶実子 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	消費者ニーズを満たすスポーツプロダクトを効果的に提供するための基本的な理論や考え方を習得 (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	サービスの定義について		
2	サービスクオリティーについて		
3	サービスの側面と測定について		
4	スポーツマーケティングについて		
5	サービスにおける人の役割		
6	サービスとマニュアル		
7	サービスエンセウンターの役割		
8	フィットネス産業の発展		
9	サービスの実態		
10	サービス内容と運用		
11	会員継続マネジメント(購入理由)		
12	会員継続マネジメント(退会理由)		
13	経済社会の成熟とサービス化		
14	消費者意識の変化とサービスの特質		
15	サービス・エンカウンターについて		
16	サービス・プロフィット・チェーンについて		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：スポーツビジネスコミュニケーション		池田 扶実子 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	消費者ニーズを満たすスポーツプロダクトを効果的に提供するための 基本的な理論や考え方を習得 (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	サービス・スタッフのマネジメント		
2	サービスの捉え方とサービスの品質		
3	プロモーション戦略		
4	ソーシャルマーケティング		
5	コミュニケーションスキル①		
6	コミュニケーションスキル②		
7	コミュニケーションスキル③		
8	プレゼンテーションスキル①		
9	プレゼンテーションスキル②		
10	プレゼンテーションスキル③		
11	企画書作成①		
12	企画書作成②		
13	企画書作成③		
14	サービス・スタッフのマネジメント		
15	フィットネスクラブ施設見学 スタッフの仕事や対応を見学	レポート提出	
16	企画書発表		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p>
			<p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：フィットネスプログラム (講義)		富士 伸之 実務経験有	■ 2年前期
到達 目標	GFI資格取得にむけた強度を上げるプログラム2.5分の作成。		2単位 32時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト		
回	授業内容	備考	
1	ADI課題 プログラム作成		
2	ADI課題 プログラム実演練習と指導練習		
3	ADI課題 試験に向けたリハーサル練習		
4	REI課題 プログラム作成		
5	REI課題 プログラム実演練習と指導練習		
6	REI課題 試験に向けたリハーサル練習		
7	SEI課題 プログラム作成		
8	SEI課題 プログラム実演練習と指導練習		
9	SEI課題 試験に向けたリハーサル練習		
10	WEI課題 プログラム作成		
11	WEI課題 プログラム実演練習と指導練習		
12	WEI課題 試験に向けたリハーサル練習		
13	ADI技試験 筆記試験		
14	REI技試験 筆記試験		
15	SEI技試験 筆記試験		
16	WEI技試験 筆記試験		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>	<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：フィットネスプログラム (講義)		富士 伸之 実務経験有	■ 2年後期
到達 目標	健康運動実践指導者試験の課題曲に合わせた実演練習		2単位 32時数
	及び、指導循環を実践する力を身につける。		
	(成績評価の方法・基準) 出席率・実技テスト		
回	授業内容	備考	
1	課題運動実演A		
2	課題運動実演A		
3	課題運動実演A		
4	課題運動実演A		
5	課題運動実演R		
6	課題運動実演R		
7	課題運動実演R		
8	課題運動実演R		
9	課題運動実演A・R		
10	課題運動実演A・R		
11	課題運動実演A・R		
12	課題運動実演A・R		
13	健康運動実践指導者筆記試験対策①		
14	健康運動実践指導者筆記試験対策②		
15	健康運動実践指導者筆記試験対策③		
16	健康運動実践指導者筆記試験対策④		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：スポーツ経営管理 (講義)		池田 扶実子 実務経験有	■ 2年前期
到達目標	スポーツ経営におけるマーケティング戦力を立てることができ、 課題を抽出する事のできるための理論や知識の習得 (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	マーケティングの概要		
2	マーケティングの定義		
3	マーケティングミックスの考え方		
4	販売志向とマーケティング志向の違い		
5	マーケティングの課題		
6	マーケティングミックス・製品編		
7	マーケティングミックス・製品編		
8	マーケティングミックス・価格編		
9	マーケティングミックス・価格編		
10	マーケティングミックス・流通編		
11	マーケティングミックス・流通編		
12	マーケティングリサーチの手法		
13	消費者行動とスポーツ観戦		
14	スポーツプロモーション		
15	マーケティング実践		
16	事例研究		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p>
			<p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：スポーツビジネス学科
教科名：スポーツ経営管理 (講義)		池田 扶実子 実務経験有	■ 2年後期
到達目標	スポーツ経営におけるマーケティング戦力を立てることができ、 課題を抽出する事のできるための理論や知識の習得 (成績評価の方法・基準) 出席率・筆記テスト		2単位 32時数
回	授業内容	備考	
1	市場の細分化		
2	デモグラフィック変数		
3	サイコグラフィック変数		
4	スポーツマーケティング・営利		
5	スポーツマーケティング・非営利		
6	スポーツマーケティングの課題		
7	インタラクティブマーケティング		
8	スポーツクラブのクレーム・営利		
9	スポーツクラブのクレーム・非営利		
10	スポーツ観戦者の観戦意図要因について		
11	スポーツ観戦者増加プランの作成		
12	スポーツ実施者増加プランの作成		
13	アンケートの作成方法①		
14	アンケートの作成方法②		
15	アンケートの作成方法③		
16	事例研究		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>	<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p>
			<p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー	授業担当	学科名：フラワービジネス
教科名：フラワーデザイン実習 (1)(2)(3)(4)(5)	西河友美 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	フラワーデザインの知識や技術、フラワー産業としての花流通を学ぶ (成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト	10単位 160時数
回	授業内容	備考
1	木下恵子氏デモンストレーション見学	
2	【A・B・C】造形バリエーション	
3	【A】テーブルセンターピース①(ラウンド)	
4	【C】身に着けるオシャレな花(ツープイント)	
5	【A】年中行事の花(母の日)ラッピング技術	
6	【A】テーブルセンターピース②(水平)	
7	【B】ブライダルブーケ①(ラウンド)	
8	【B】ブライダルブーケ②(カスケード)	
9	【B】ブーケ(花束)①(スパイラル)	
10	【B】ブーケ(花束)②(平行)	
11	【A】ジオメトリック(パーティカル)	
12	フラワーワーク①(フラワーデザイナー)	
13	フラワーワーク②(フラワーデザイナー)	
14	フラワーワーク①(フローリスト)	
15	フラワーワーク②(フローリスト)	
16	前期試験(木下恵子氏審査)	
成績評価の基準		成績の評価の方法
<p>授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。</p> <p>・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満)</p> <p>・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0</p> <p>算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)</p>		<p>再試験に関して</p> <p>定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。</p>
		<p>前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。</p> <p>その他</p> <p>授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。</p>

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：フラワービジネス
教科名：フラワーデザイン実習 (1) (2) (3) (4) (5)		西河友美 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	年中行事の花を学ぶとともにNFD検定3級取得を目指す		10単位 160時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・筆記テスト		
回	授業内容	備考	
1	フラワー装飾技能士3級【ABC】		
2	NFD3級パターン【A】①(共同形態)		
3	NFD3級パターン【A】②(並行-装飾的)		
4	NFD3級パターン【A】③(トライアングラー)		
5	NFD3級パターン【B】①(丸い花束)		
6	NFD3級パターン【B】②(モダン-装飾的ブーケ)		
7	【A】年中行事の花①(クリスマス リングアレンジ)		
8	【A】年中行事の花①(クリスマス リース)		
9	【A】年中行事の花①(迎春門松アレンジ)		
10	【A】年中行事の花①(迎春注連縄飾り)		
11	復興支援・花育事業参加		
12	NFD3級本番トライアル①		
13	NFD3級本番トライアル①		
14	NFD3級本番トライアル①		
15	NFD3級本番トライアル④		
16	後期試験(木下恵子氏審査)		
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) 			その他
			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ITビジネス	
教科名：ネットワークセキュリティ①②		服部 久美子 実務経験有	■ 1年前期	
到達目標	基本情報処理試験を通して、ネットワークのしくみや日々起こる情報セキュリティの危険性、技術の危険性、技術保守のしくみなどを理解する。			4単位 64時数
回	授業内容	備考		
1	インターネット			
2	ネットワークアーキテクチャ			
3	ネットワークの仕組み			
4	第5部 まとめ			
5	第5部 まとめ			
6	情報セキュリティの概要			
7	情報セキュリティの概要			
8	情報セキュリティ対策			
9	情報セキュリティ対策			
10	第6部 まとめ			
11	データ構造			
12	基本アルゴリズム			
13	第7部 まとめ			
14	総復習			
15	前期試験			
16				
成績評価の基準		再試験に関して	成績の評価の方法	
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。		定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。	
<ul style="list-style-type: none"> 成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可 (出席50%以上) E=不可 (出席50%未満) GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数)			その他	
			授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。	

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ITビジネス	
教科名：ストラテジー①②		服部 久美子 実務経験有	■ 1年前期	
到達目標	基本情報処理午前問題として出題されるストラテジ系の内容を通して、企業の経営の基本的理論を学習する。			4単位 64時数
回	授業内容	備考		
1	企業活動			
2	経営科学			
3	経営科学			
4	経営科学			
5	法務と標準化			
6	法務と標準化			
7	第1部 まとめ			
8	第1部 まとめ			
9	経営戦略マネジメント			
10	経営戦略マネジメント			
11	ビジネスインダストリー			
12	情報システム戦略の概要			
13	情報システム企画			
14	総復習			
15	前期試験			
16				

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。姉妹校と共同で、多彩な授業を展開するEXTENSION講座を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：ITビジネス	
教科名：マネジメント①②		服部 久美子	■ 1年前期	
到達目標	ITパスポート試験のマネジメント対策			4単位
				64時数
回	授業内容	備考		
1	システム開発のプロセス			
2	システム開発のプロセス			
3	システムの導入と受入			
4	ソフトウェア開発管理技術			
5	まとめ			
6	プロジェクトマネジメント			
7	プロジェクトマネジメント			
8	プロジェクトマネジメント			
9	まとめ			
10	サービスマネジメント			
11	サービスマネジメント			
12	サービスマネジメント			
13	まとめ			
14	復習			
15	期末試験			
16				

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	小テスト：40点 期末テスト：60点
		その他 FOM出版「ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集」使用

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物内科看護学		泉 千尋 実務経験有	■ 1年前期・2年前期
到達 目標	愛玩動物の健康の確認方法（検査・処置）について適切に学ぶ		6単位 90時数
	（成績評価の方法・基準）筆記試験		
回	授業内容		
1	健康の保持・増進		
2	診療補助に必要な技術/診察における愛玩動物看護師の役割について		
3	診療補助に必要な技術/診察室の準備と衛生管理について		
4	診療補助に必要な技術/動物種ごとの適切な接し方について		
5	診療補助に必要な技術/保定の基本的な原理、目的、方法について		
6	診療補助に必要な技術/身体検査・アセスメント項目について		
7	検査・処置に必要な技術/注射器の取り扱い及び管理方法について		
8	検査・処置に必要な技術/採血の目的と方法について		
9	検査・処置に必要な技術/採尿の目的と方法について		
10	検査・処置に必要な技術/穿刺と吸引について		
11	検査・処置に必要な技術/各種カテーテル挿入について		
12	検査・処置に必要な技術/酸素吸入について		
13	検査・処置に必要な技術/マイクロチップの挿入について		
14	投薬に関わる技術/薬の処方について		
15	投薬に関わる技術/内服薬の使用法について		
16	前期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。 その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物内科看護学実習Ⅰ		泉 千尋 実務経験有	■ 1年前期・後期
到達 目標	愛玩動物の検査業務の基本を習得する		4単位 60時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・実技		
回	授業内容		
1	身体検査/全身状態を評価できる		
2	身体検査/全身状態を評価できる		
3	身体検査/全身状態を評価できる		
4	身体検査/バイタルサインを評価できる		
5	身体検査/バイタルサインを評価できる		
6	診察補助/診察の準備や診察室の衛生管理ができる		
7	診察補助/基本的な保定を実施することができる		
8	診察補助/聴診器や体温計、注射器を適切に扱うことができる		
9	診察補助/採血・採尿の手順を習得している		
10	診察補助/薬剤の取扱い、経口投与・注射の手順を習得している		
11	輸液・輸血に関わる技術/留置針設置の手順を習得し、準備及び補助ができる		
12	輸液・輸血に関わる技術/輸液ポンプ、シリンジポンプを使用できる		
13	輸液・輸血に関わる技術/輸液ポンプ、シリンジポンプを使用できる		
14	輸液・輸血に関わる技術/輸液・輸血中の動物を管理できる		
15	輸液・輸血に関わる技術/輸液・輸血中の動物を管理できる		
16	後期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他
		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床検査学実習		泉 千尋 実務経験有	■ 1年前期・後期
到達 目標	動物の臨床検査手順を習得する		4単位 60時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・実技		
回	授業内容		
1	検体検査/検体採取・処理の手順を習得している		
2	検体検査/マイクロピペットや遠心分離器を正しく操作できる		
3	検体検査/血漿、血清を分離できる		
4	検体検査/血液塗抹標本を作製、染色できる		
5	検体検査/血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出できる		
6	検体検査/血液塗抹標本を観察し、白血球の百分比を算出できる		
7	検体検査/全血球計及び血液化学検査を実施することができる		
8	検体検査/簡易血清学的検査を実施できる		
9	検体検査/尿検査を実施し、物理化学性状を記録できる		
10	検体検査/尿沈渣を観察し、所見を記録できる		
11	検体検査/糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出できる		
12	検体検査/糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出できる		
13	検体検査/糞便検査を実施し、虫卵及び原虫を検出できる		
14	検体検査/細胞診の準備、補助ができる		
15	検体検査/細胞診の準備、補助ができる		
16	後期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー	授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物医療コミュニケーション	古谷 博子 実務経験有	■ 1年前期
到達目標	動物医療を通し、クライアントとのコミュニケーション能力を身に着ける (成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・実技	2単位 30時数
回	授業内容	
1	クライアントエデュケーション/適正飼養について理解し、健康管理のため必要な情報を飼い主に提供できる	
2	クライアントエデュケーション/動物と飼い主が良好な関係を構築する方法について	
3	クライアントエデュケーション/動物と飼い主が良好な関係を構築する方法について	
4	クライアントエデュケーション/病気の適切な予防法について	
5	クライアントエデュケーション/病気の適切な予防法について	
6	クライアントエデュケーション/在宅看護などにおけるコミュニケーション技能について	
7	クライアントエデュケーション/在宅看護などにおけるコミュニケーション技能について	
8	院内コミュニケーション/飼い主への指導を主体としたインフォームドコンセントについて	
9	院内コミュニケーション/飼い主への指導を主体としたインフォームドコンセントについて	
10	院内コミュニケーション/獣医療面接のプロセスについて	
11	院内コミュニケーション/獣医療面接のプロセスについて	
12	院内コミュニケーション/チーム獣医療に関するコミュニケーション技能について	
13	院内業務/ペット保険について	
14	院内業務/受付業務について	
15	院内業務/物品購入や管理について	
16	後期テスト	

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)		その他
		授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物看護学概論		古谷 博子 実務経験有	■ 1年後期
到達目標	動物看護の基本概念について学ぶ		2単位 30時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・実技		
回	授業内容		
1	動物看護の基本となる概念/動物看護の目的、概念について		
2	動物看護の基本となる概念/獣医療と動物看護の歴史について		
3	動物看護の基本となる概念/獣医療倫理、動物看護者の倫理綱領について		
4	動物看護の基本となる概念/動物にとっての健康、福祉、QOLについて		
5	動物看護の基本となる概念/動物病院における愛玩動物看護師の役割について		
6	動物看護の提供体制/社会における動物病院の役割について		
7	動物看護の提供体制/一次診療と二次診療、救急獣医療の役割と連携について		
8	動物看護の提供体制/インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、守秘義務について		
9	動物看護の提供体制/診療録と動物看護記録の作成、保存義務について		
10	動物看護の提供体制/職場における労働安全衛生、危険の防止・対処法について		
11	愛玩動物看護師の社会的立場/愛玩動物看護師の職能団体について		
12	愛玩動物看護師の社会的立場/愛玩動物看護師の資格制度と業務範囲、資格認定機関について		
13	愛玩動物看護師の社会的立場/愛玩動物看護師に関するその他の代表的な組織・団体について		
14	愛玩動物看護師の社会的立場/国際的な動物看護師の業務や資格制度の違いについて		
15	愛玩動物看護師の社会的立場//国際的な動物看護師の業務や資格制度の違いについて		
16	後期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物臨床検査学		栗田 和恵 実務経験有	■ 1年前期
到達 目標	動物の臨床検査知識を学び、実習につなげる		2単位 30時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・実技		
回	授業内容		
1	臨床検査の基礎/臨床検査における愛玩動物看護師の役割について		
2	臨床検査の基礎/基準値、感度、特異度、精度管理について		
3	臨床検査の基礎/検体採取法について		
4	血液検査/血漿、血清の分離法について		
5	血液検査/全血球計算法について		
6	血液検査/血液塗抹の作成及び観察法について		
7	血液検査/ヘマトクリット管を用いた検査について		
8	血液検査/凝固検査の目的と意義について		
9	血液検査/血液化学検査の目的と意義について		
10	血液検査/血液ガス検査の目的と意義について		
11	血液検査/免疫学的検査の目的と意義について		
12	尿検査尿検査		
13	糞便検査		
14	細胞診と病理組織検査		
15	遺伝子検査		
16	後期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物形態機能学Ⅰ		栗田 和恵 実務経験有	■ 1年前期・後期
到達目標	動物の体を、細胞レベルでとらえ、機能を学ぶ		4単位 60時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・実技		
回	授業内容		
1	生命のすがた/細胞の構造について		
2	生命のすがた/DNAの働きについて		
3	生命のすがた/上皮組織、腺組織、支持組織、筋組織、神経組織について		
4	生命のすがた/器官の成り立ちと維持、調整システムについて		
5	生命のすがた/器官の成り立ちと維持、調整システムについて		
6	循環器とその調節/心臓の構造について		
7	循環器とその調節/心筋細胞の電気現象と心筋の興奮伝導系について		
8	循環器とその調節/ポンプとしての心臓機能と心電図、心音について		
9	循環器とその調節/心臓機能の調節機構について		
10	循環器とその調節/血管の種類と構造、機能について		
11	循環器とその調節/血圧調節機構について		
12	呼吸器とその調節/呼吸器の構造について		
13	呼吸器とその調節/換気の仕組みについて		
14	呼吸器とその調節/肺胞におけるガス交換について		
15	呼吸器とその調節/血液による酸素と二酸化炭素の運搬について		
16	後期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物形態機能学Ⅱ		栗田 和恵 実務経験有	■ 2年前期・後期
到達 目標	泌尿器系、脳、神経系、運動器系の機能を学ぶ		4単位 60時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・実技		
回	授業内容		
1	泌尿器と体液調節/腎臓及びネフロンの構造と機能について		
2	泌尿器と体液調節/クリアランスの意味を知り、腎血漿流量と糸球体濾過量の調節機構について		
3	泌尿器と体液調節/尿細管における再吸収と分泌、集合管における尿濃縮について		
4	泌尿器と体液調節/体液の分泌と区分、調節機構について		
5	泌尿器と体液調節/電解質バランスについて		
6	泌尿器と体液調節/酸・塩基平衡について		
7	脳と神経/ニューロンの構成と活動電位、シナプス伝達について		
8	脳と神経/脳の構造と機能について		
9	脳と神経/脊髄の構造と機能について		
10	脳と神経/体性神経の構成と機能について		
11	運動器/骨格の構成について		
12	運動器/骨の形状と構成について		
13	運動器/関節の構造と働きについて		
14	運動器/骨格筋の構造と収縮機構について		
15	血液と造血器/血球成分と血漿成分について		
16	後期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換： A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。

学校名：専門学校大阪ビジネス・アカデミー		授業担当	学科名：愛玩動物看護学科
教科名：動物繁殖学		栗田 和恵 実務経験有	■ 2年前期
到達目標	動物の繁殖について、生殖機能、性周期について理解する		2単位 30時数
	(成績評価の方法・基準) 出席率・課題評価・実技		
回	授業内容		
1	生殖器の形態と機能/生殖器の基本構造について		
2	生殖器の形態と機能/主要なホルモンの名称、産生部位及び標的器官について		
3	生殖器の形態と機能/雄の繁殖生理について・雌の繁殖生理について		
4	性周期と交配/性成熟と発情徴候について		
5	性周期と交配/排卵の仕組みについて		
6	性周期と交配/性周期と陰細胞スメアの関係について		
7	性周期と交配/交配適期の決定法について		
8	妊娠と分娩/着床・発生・妊娠・胎子の発育について		
9	妊娠と分娩/妊娠期間、偽妊娠について		
10	妊娠と分娩/分娩と助産、帝王切開について		
11	妊娠と分娩/去勢・避妊手術について・人工授精について		
12	新生子管理/新生子のための飼養環境について		
13	新生子管理/初乳の意義と哺乳について・新生子の発育過程について		
14	遺伝学概論/遺伝のメカニズムについて・さまざまな遺伝様式について		
15	遺伝学概論/遺伝のメカニズムについて・さまざまな遺伝様式について		
16	後期テスト		

成績評価の基準	再試験に関して	成績の評価の方法
授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へ郵送される。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀B=良いC=標準D=不可(出席50%以上)E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。 Gポイント変換：A=3 B=2 C=1 D=0 E=0 算出：(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数 (履修登録単位の総数)	定期試験で合格出来なかった学生のための再試験を実施。	前期終了時、後期終了時に実施を行い、学習状況の把握を行う。
		その他 授業の理解度の低い学生対象の補講を実施。